

# 指宿研修合宿の記録

Japan Society of Korean Language Education

2015年3月

第 65 回例会 2015 年 03 月 20 日(金)

会場：休暇村 指宿

◎住所：〒891-0404 鹿児島県指宿市東方 10445 電話：0993-22-3211

1. 午前の部（10時～12時）

【朝鮮語教育ワークショップ】

◎進行係：阪堂千津子 「コミュニケーション能力向上のための会話授業」

2. 午後の部（13時～17時）

【口頭発表】

◎印省熙（早稲田大学） タイトル：直接法による模擬授業紹介

◎목종균（近畿大学） タイトル：결과상과 동사의 범주적 의미

【基調講演】

◎油谷幸利（同志社大学） タイトル：朝鮮語研究と私

3. 夕方の部（17時～18時）

【統計ワークショップ】

◎統計分科会：斉藤信浩（九州大学） 「タイトル： $t$ 検定を学ぶ -平均値の差の検定-

朝鮮語教育学会

Established in 1999

3月19日（木）



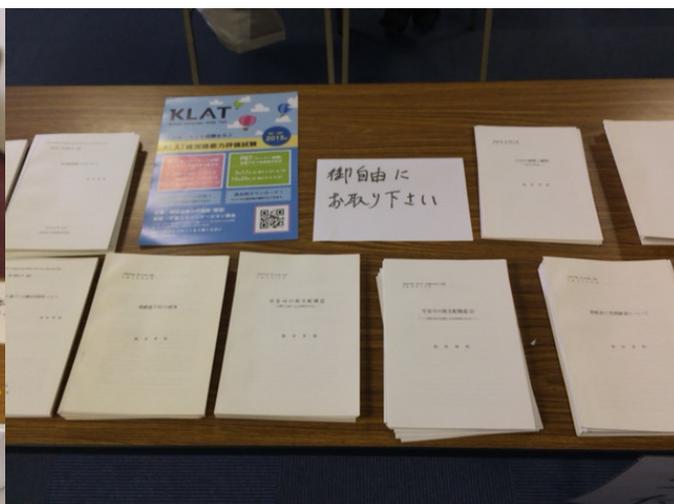
2015年3月19日から21日にかけて、鹿児島県指宿市にある指宿休暇村にて、本学会初となる研究合宿形式の例会が行われました。鹿児島県薩摩半島南端にある指宿市は気候も温暖で、3月ということもあってか、すでに桜も開花しており、波の音を聞きながら、学会メンバーと共に、春のひとときを過ごしました。

指宿と言えば、何よりも砂風呂で有名です。学会のメンバーも宿所へ到着するや、早速、砂蒸しになり、長い道中の疲れを癒しました。併設された温泉もオーシャンビューの露天風呂で、春風の中、心地よい時間となりました。



例会は20日ですが、多くのメンバーは前泊をし、それぞれ、夕食をとりながら、あるいは部屋で、それぞれ有意義な語らいを楽しみました。

3月20日（金）



会場は休暇村の地下1階にある大会議室。受付では油谷先生のこれまでの論文業績の抜き刷りや各種チラシが無理配布され、当学会誌の販売も致しました。

九州の最南端，鹿児島県ということもあり，当初は，参加者の数が心配されましたが，蓋を開けてみれば，会場となった地下1階の大会議室は満席の大盛況となりました！！



(会場風景)

### 【朝鮮語教育ワークショップ】

教案作成のためのワークショップが行われました。まず，長谷川由起子先生から授業指導の最新の動向についてレクチャーがあった後，阪堂千津子先生からワークショップについて3つのテーマが提示され，プレゼンテーションがありました。その後，予め決められていた5つのグループに分かれて，グループごとに，提示されていた3つのうちどのテーマで行うか，どのように行うかなど，活発なディスカッショ



ンが行われました。各グループから全体へ報告があった後に、再度、グループで具体的な教案作成の話し合いが行われました。そして、グループごとに配置されたパソコンに教案を入力し、この作成された教案をプリントアウトして、会場の壁に張り出し、全体で結果を共有できるようにして、意見交換が行われました。



活発にディスカッションが行われました



進行役の阪堂先生／長谷川先生も各グループを廻ってくださいました



各グループがディスカッションの報告をします



教案のデータをパソコンに入力します

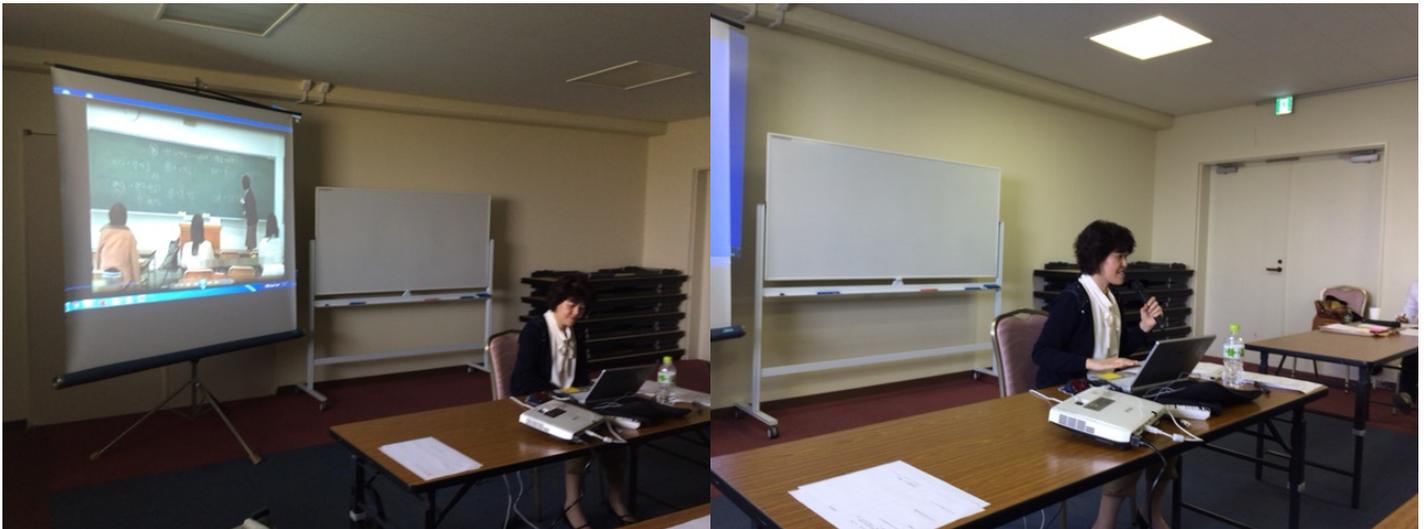


## 【口頭発表1】

印省熙（早稲田大学）

タイトル：直接法による模擬授業紹介

印省熙先生のご発表は、ご自身の（発表用に学生から許諾を受けて撮影された模擬形式の）授業を撮影したビデオを公開しながら、教案と授業展開について、実物の映像を見ながら、それに照らし合わせつつ、説明をして下さいました。



他の人の授業を冒頭から終わりまで、通しで見られるのはなかなか無い経験ですので、議論も活発に行われました。

オーディエンスも韓国語教育に従事している教員が多かったため、多くの情報が出ました。特に直接法と間接法の利点・不利点についての議論が興味深い話題となっていました。

貴重な授業公開をしてくださった印先生へ感謝申し上げます。

## 【口頭発表2】

목종균 (近畿大学)

タイトル: 결과상과 동사의 범주적 의미

睦宗均先生のご発表では、アスペクトに関する詳細な先行研究の説明から始まり、持論の展開があり、オーディエンスに韓国語のアスペクト理解に有益な知識を提供してくださいました。



質疑応答も活発に行われました。

